

エルジオグループ健康宣言

当グループの社訓である「営業活動は誠実を旨とし、たゆまざる努力により、顧客の信頼を勝ち取り、社業を通じて社会の繁栄に奉仕する。」を実践・継続していくには、社員自身が健康であることが不可欠です。そこで、当グループは、会社の成長を支える社員の心身の健康を重要な経営資源の一つと捉え、健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、社員が若々しく、明るく、フランクで言いたいことの言える社会の繁栄に貢献できる会社を目指します。

(取組方針)

1. 「健康経営」組織体制の構築

健康経営を推進するにあたっては、代表取締役をトップに、またその配下に担当役員及び各部門長の社員によるチームを構成し、各種取り組みを全部門・グループ会社へ浸透させます。

2. 社員は貴重な存在

社員の健康づくりを進めるためには状態把握が最重要であるとの認識の元、代表取締役社長を含めた役員及び社員が年 1 回の定期健康診断を確実に受診すると共に、診断結果を産業医と共有し、必要に応じて再検査・精密検査を受診するよう働きかけます。また、勤務時間中の受診を推奨することで、受診しやすい環境づくりに努めます。

3. グループ一丸で健康づくりを推進（対策の水平展開）

各種取り組みはグループ会社を含めた会社間で水平展開していくことでグループ一丸となった健康づくりを推進します。

4. 健康に関する情報の発信

健診結果などから当社として取り組む目標を設定し、その目標達成に向けた取り組み状況を発信します。また、社内では実施している健康づくりの推進に関する取り組みを社外へ公開することで、対外的な情報提供を行います。

5. 健康づくりは将来への投資

健康づくりを通じて職場環境の整備や改善を図り、活性化に一層努めます。

エルジオグループ健康管理方針

第1条（目的）

当社は、「エルジオグループ健康宣言」に基づき、社員の心身の健康保持・増進と健康で快適な職場環境の形成を目的として、健康管理についての方針を定める。

第2条（体制）

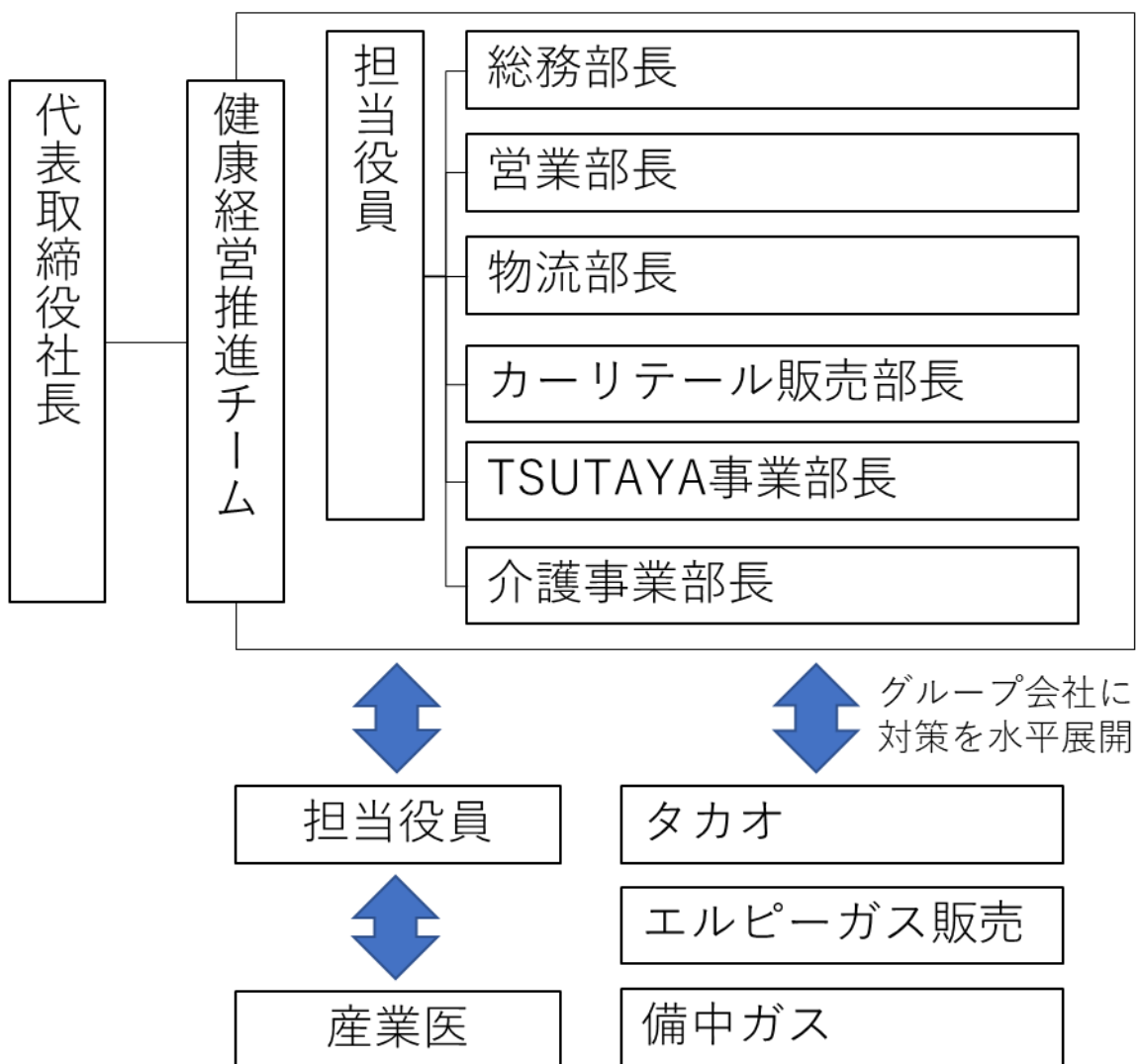
- ①当社は、健康管理を推進・実施するため、代表取締役社長を責任者とする健康経営推進チームを組織する。
- ②健康経営推進チームは、健康管理に関して年間あるいは中期的な実施計画を定め、実施計画を推進する。
- ③健康経営推進チームは、健康管理の実施状況について、必要に応じて役員会に報告する。

第3条（取組内容）

当社は、社員一人ひとりが心身の健康保持増進に自律的に取り組めるよう、健康づくりを支援する。法令遵守を基本とし、予防医学の見地から、以下の枠組みを体系的かつ包括的に健康管理を実施する。

- ①0 次予防：職場のコミュニケーションの活性化等により、職場の環境を改善に資する取組を推進する。
- ②1 次予防：研修等による社員への健康啓発や予防接種の実施等により、「疾病予防」に資する取組を推進する。
- ③2 次予防：健康診断等の実施徹底や健康診断後の保健指導等により、「疾病の早期発見・早期措置」に資する取組を推進する。
- ④3 次予防：休業と職場復帰制度などの規定や体制の整備等により、「疾病の再発防止・重症化予防」に資する取組を推進する。

「健康経営」エルジオグループ組織体制



健康課題と中期目標

課題	改善目標	改善施策	最終目標期限
これまでは特定保健指導を受けることは任意としており該当者がほぼ受けていなかったという実態があった。	特定保健指導の受診率を100%にする。	管理職を通して対象者への声掛けを実施する。 協会けんぽと相談し、受診しやすい方法を検討する。	2019年度

課題	改善目標	改善施策	最終目標期限
営業部門はデスクトップパソコンを使用しており、社員によっては日報を作成するために自宅とは反対の事務所へ一旦帰社する場合があります、移動時間・残業時間が多くなる原因となっている。	営業先への直行、直帰を増やすことで社員の負担を軽減する。	モバイル型のパソコンを導入することで、各拠点で作業することができる環境づくりをする。	2020年度

課題	改善目標	改善施策	最終目標期限
部門間のコミュニケーションが不足しており、会社としての一体感が出しきれない。	部門の垣根を超えたコミュニケーションづくりを行い、相互の理解を深め、様々な職種を持つグループとしての強みを活かしていく。	部門の垣根を超えた社員が集まる場を作り、コミュニケーションを促進する。	2021年度